

科目名	作業療法特論				授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年			必修・選択	必修
【授業の目的・ねらい】									
評価実習のために必要な基礎知識、検査評価技術、コミュニケーションスキル等を習得する									
【授業全体の内容の概要】									
オスキーの実施を前提にグループワークを中心に実施する。									
【講師の実務経験】									
緑ヶ丘病院,大阪市社会福祉協議会,中央訪問看護ステーションで作業療法士として勤務									
【授業終了時の達成課題(到達目標)】									
評価実習合格レベルに到達すること									
回数	講義内容								
1	OSCE オリエンテーション								
2	OSCE課題1練習								
3	OSCE課題1練習								
4	OSCE課題1実施(1日)								
5	OSCE課題1実施(1日)								
6	OSCE課題1実施(1日)								
7	OSCE課題1フィードバック								
8	OSCE課題1フィードバック								
9	OSCE課題2練習								
10	OSCE課題2練習								
11	OSCE課題2実施(1日)								
12	OSCE課題2実施(1日)								
13	OSCE課題2実施(1日)								
14	OSCE課題2フィードバック								
15	OSCE課題2フィードバック								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名			出版社	
PT・OTのための臨床技能とOSCE					才藤栄一 監修			金原出版	
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】									
筆記試験(課題1から2→それぞれ満点で合格しなければ実技試験を受験する資格を持ってないとする) 実技試験(OSCE課題1から2)(2つの課題それぞれ合格しなければ再試験期間中に再度実技試験を実施する)									